

探究活動の開始に向けて

1 探究Ⅱ (CR), 探究Ⅲ (IR) の目標

(1) 探究Ⅱ (CR) (コラボラティブリサーチ:協働的な航海)

探究Ⅰ (FR)で身に付けた8つの力「批判的・論理的思考力」、「知識・理解力」、「論理的表現力」、「課題発見力」、「分析・処理力」、「計画・立案力」、「実験・実証力」、「国際的表現力」を基にグループ単位での課題研究を行うとともに、互いの研究成果に対して建設的に議論することにより、「提案する力」、「問題解決力」を育成する。

(2) 探究Ⅲ (IR) (イノベティブリサーチ:未知なる世界へ)

探究Ⅱ (CR)の研究を発展させた課題研究を行い、論文にまとめ、校内外で研究成果の発表を行い、将来「発見する人・貢献する人・開拓する人」となるために必要な「独創的な視点」、「失敗に負けない心」、「海外の場でも物怖じしない態度」を育成する。

2 半年間の流れ

	月	日	時	項目	詳細		
1	4	13	5	ガイダンス	○指導教員を決定する ○ルール・今後の日程を確認する ※指導教員が確定次第、探究活動を開始する		
2	4	20	4	探究活動Ⅳ (11時間)	○2年時からの研究をさらに進める ○「研究レポート」の作成を進める		
3			5				
4	4	27	5				
5	5	11	4				
6			5				
7	6	1	4				
8			5				
9	6	8	5			○6/11(金)17時 「研究レポート」1次提出 ・様式はWordのA4サイズ、指定した様式に合わせたものとする ・2年時の「中間レポート」と評価から、これまでの活動を更新していけばよい	
10	6	15	4			○「研究レポート(1次)」を元にした評価面談 (グループ単位、指導教員が指定した日時で実施) ・評価時に、「ルーブリック評価表」(自己評価済み)と「探究ノート」も併せて提出する	
11			5				
12	6	22	5				
13	7	6	5	探究活動Ⅴ (3時間)	○探究発表会に向けた「スライド」作成・発表準備 ・「研究レポート(1次)」及び評価面談を基に、「スライド」を作成する ・発表の方法・時間等については、SSH部・探究科で検討の上、提示する ・7/31(土)23時59分 「スライド」提出 ※この前までに、指導教員にスライドを見せ、修正する		
14			7			13	4
15							5
16	8	5	1	生徒探究発表会	○1限 発表準備 ○2・3限 発表 ○9/1(水)17時 「研究レポート」2次提出 ・「研究レポート(1次)」の評価面談、及び生徒探究発表会でのコメント、評価を基に、レポートを更新する		
17			2				
18			3				

	月	日	時	項目	詳細
19	9	7	4	GPS	○ベネッセの調査を実施する 「批判的思考力・協同的思考力・創造的思考力」を測る
20			5		
21	9	14	5	探究活動VI (4時間)	○「発表」及び「研究レポート(2次)」評価面談 (グループ単位, 指導教員が指定した日時で実施) ・評価時に, 「ルーブリック評価表」(自己評価済み)と 「探究ノート」も併せて提出する ・評価面談を受け, 「研究レポート(2次)」を修正し, 「研究レポート(最終)」, 「発表及び2年間の振り返りシート」を提出する
22	9	21	5		
23	9	28	4		
24			5		

3 担当教員紹介

20名の先生で担当します(敬称略)。

指導教員については、次のようにします

① **2年の時の指導教員が、今年の担当教員の中にいる場合**

指導教員の変更はありません

ただし、次の場合は指導教員を変更になります

(ア) **2年の時でA講座、B講座で指導教員が異なっていた場合**

…… いずれか1人に変更してください(指導教員の先生方と相談してください)

(イ) **2年の時の指導教員が、A講座、B講座の両方担当していた場合**

…… そのままのグループと、下線の引かれている9名の先生方(視聴覚室にいます)に指導教員を変更するグループに分かれます

② **2年の時の指導教員が、今年の担当教員にいない場合**

下線の引かれている9名の先生方(視聴覚室にいます)に指導教員を変更します

4 評価について

(1) **ルーブリック評価表**

- ・ 本日配付されたピンクのプリント『探究活動』におけるルーブリック評価表を用いて評価する

補足

全体

表の上にある◎の注意事項や、表の左から2列目にある「評価に用いるもの」を参考に、自己評価をします

①-1, 2 **課題の設定力**

自分たちの研究テーマ・リサーチクエスチョン・仮説に合わせ、評価しやすいものを1つ選びます(グループのメンバーで、1, 2を統一してください)

⑤-1, 2 **結果の分析・処理力**

調査・研究で得られたデータの種別にあわせて評価します(よって、「いずれか1つ」だけを用いる、または「2つとも」用いる)

※ 定量データ, 定性データがわからない場合は、「課題研究メソッド」の索引から該当のページを見つけ、調べよう

(2) 1学期の評価

- ・ 次のものを用いて行います
 - ① 「研究レポート（1次）」
 - ② 「探究ノート」
 - ③ 「研究レポート（1次）」評価面談で提出した「ルーブリック評価表」（教員評価）

(3) 2学期の評価

- ・ 次のものを用いて行います
 - ① 「研究レポート（2次）」
 - ② 「探究ノート」
 - ③ 「研究レポート（2次）」評価面談で提出した「ルーブリック評価表」（教員評価）
 - ④ 「発表」の教員評価
 - ⑤ 「発表及び2年間の振り返りシート」

5 諸連絡

(1) 授業についてのルール

- ・ 毎時間、「集合教室」で出席を取ってもらってから活動開始
- ・ 毎時間、及び授業外での活動においても、「ノート」に記録を付ける
……次の時間に向けた課題の洗い出しのために、最後の「まとめ」活動のために
- ・ 「集合教室」以外の場所を使うとき、学校の機器を使うとき
……その都度「学校施設・機器使用許可願」（黄色）を提出し、許可を得てから使う
4組前にあるものを使用し、前週の金曜までに、許可願を提出する

(2) 探究ノートの使い方

- ・ 2年のガイダンスで配付し、ノートの表紙裏に貼り付けたものを基に記入する

(3) スマートフォンの利用について

- ・ 「探究」での研究・調査活動で、教員の許可と監督のもと、スマートフォンの利用を認める
- ・ 以下の注意事項に従って、利用してください（追加・変更があれば、その都度連絡します）

- スマートフォンを利用する場合、担当教員に使用理由を具体的に説明し、許可を得る
（「使用理由の説明」は、口頭で構いません）
- 授業時間で利用する場合は、担当教員の監督の下で利用する
（授業時間外の探究活動で利用する場合も、担当教員立合い監督の下で、利用を認めます
担当教員の都合がつかない場合は、都合のつく先生に立合いをお願いすること）
- 音が鳴らないよう、マナーモードに設定する
- 他人のスマートフォンを不必要に使用しない
- 探究の授業（や授業時間外の探究活動の時間）以外においては、校則に従い「電源を切り、鞆の中にしまう」ルールを厳守する

- ・ 以上のことを守らずにスマートフォンを利用した場合には、指導の対象となります

(4) 校内のWi-Fiへの接続について

- ・ 本年度から、みなさんが持ち込んだスマートフォンやタブレットについても、校内にあるWi-Fiへ接続できます
- ・ 学校での学習・部活動・学校行事で使用するための使用してください（使わないときは、Wi-Fiへの接続をOffにしてください）
- ・ 初めて接続するとき限り、右のQRコード（省略）を読み込むことで、以後は設定なしで利用することができます